



からしだね

2015年
5月号 (505号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父

協力司祭：デニス・マックゴワン神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400

FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



デニス神父様ダイヤモンド祝 おめでとうございます。

巻頭言	2	デニス神父様ダイヤモンド祝	3
四旬節黙想会	4	池田・日生合同黙想会	5
福島県の診療所建設	5	5月のガラスケースの言葉	5
円ブリオ基金への協力に感謝	6	宝塚黙想の家から	7
ペーパードーム	7		

表紙写真 撮影：石戸 克明

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です。
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください。

巻頭言

多様なカトリック教会

松本一宏神父

カトリック教会は全世界的な共同体です。池田教会のような小教区がいろいろな国のあちこちに存在しています。そんなこと改めて言うまでもない事かもしれません。旅行先で言葉は分からなくても同じミサに与ってひとつの教会を体験された方もあるでしょう。私たちの教会にも様々な国の出身の方がおられます。ひとつの教会でありながら、多様性をもっている所はカトリック教会の美しさの一つではないでしょうか。

とうぜん修道会も国際的な集まりです。御受難修道会も60カ国ほどで会員が生活し働いています。とは言うものの意識しないといつの間にか内向きにばかり目が行ってしまいます。少ない人数の上に高齢化してどうしようかと、日本管区のことだけで精一杯です。これまで守って来たものをいかに保って行くか、という事に懸命になります。もちろんそれらも大切には違いないのですが・・・。

最近、あらためて修道会が国際的なものであることを思い起こさせる体験が続きました。韓国からアンドリュウ神父がサバティカルで日本へ来られました。（日曜のミサで皆さんにご紹介したので覚えておられるかもしれません。）静かな方なのでたくさんは話されないのですが、同じ教会・修道会でも韓国ではどうしているかを聞くと、似ている所もありますが、ずいぶん違うなあと感じる時もあります。当たり前だと思っていた事が実はそうではなく、いろんな形があって良い事に気付かされます。

またインド管区のルイス神父という若い会員が学会で発表するため1週間売布に滞在されました。（フィリピン管区で4年ほど働いてから、現在マニラで哲学を勉強しているそうです。）インドやフィリピンでの教会生活・修道生活の様子は日本のそれと異なる点が多く（信者人口や社会状況が違うので当然なのですが）、ある意味で斬新な視点を与えてくれました。

先日、北摂地区の中高生の交流会があり、アジア・ユース・デイ（韓国大会）に参加した青年たちの発表がありました。彼らは同じ神さまを信じていながら、それぞれの国でユニークな形で実りをもたらしている生きた信仰を体験してきたようでした。また、地区の集まりに参加すると、小教区の数だけ、それぞれの発想・取り組み方・表現の仕方がある事に気付かされます。たまたま行った教会ではこうしていた、と知るだけでも大きな学びです。

教会は生きている信仰によって作られていきます。こうでなければならないという決まった形があるわけではありません。いま必要とされている教会のあり方を見いだして実現するために、いつもいろいろな視点を意識できるようになりたいと感じます。ひとり一人の持っている多様な美しさがお互いをより生かす恵みとなるように、異なった視点からの声に耳を傾けることから始めたいと思います。



聖香油ミサ・ダイヤモンド祝 4月1日カテドラルにて

司祭叙階60周年を迎えられた
デニス神父様おめでとうございます。



ダイヤモンド祝ミサ4月5日池田教会にて

御受難修道会の山内十束神父による四旬節黙想会

カトリック池田教会 2015年3月22日

3月22日に池田教会御堂における四旬節黙想会では御受難修道会の山内十束神父が福音(ヨハネ8章、1-11節)に見られる“イエスと律法学者とファリサイ派の人々との間のズレ”について講話された。対面しているかのように穏やかな声で語る山内神父は聞く者に福音の一言、一言の意味を覺らせた。

律法学者とファリサイ派の人々は、律法に対して熱心であることを表すために一人の女性を訴え、イエスに質問し、イエスを不利な状況に追いやる。人びとは自分が正しいと思っているときには他者の咎を責め立てたりするが、自分自身はどうなのか。御前で心を閉せば、却って危ない状況にいるのではないか。

「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」この言葉に律法学者もファリサイ派も自分の罪を悟り立ち去って行く。誰でもイエスの前に在るとき自分の罪を言い逃れることをしない。

「わたしもあなたを罪に定めない。」この言葉で彼女の罪が赦され解放される。この言葉を聞いたときどんなにうれしかったことでしょう。彼女は心を閉ざしていないのでイエスを知ることができた。神の恵みの中に留まるときズレは正される。



研修委員会が配布したアンケートに書かれた聴衆の感想を列挙すると、

- ・「とてもわかりやすく、心にしみこみました。感謝です。」
- ・「山内神父様のご講話が頭にスーツと入ってきて、少し癒やされた感じがしました。余り無理しないで頑張らなくていいかなって。」
- ・「復活祭を前にして黙想会に参加することの大事さ、山内神父様のゆっくりした口調心にしみました。」
- ・「Fr 山内のゆっくりと話す話し方が難しい聖書の箇所を私でも理解できたように思います。聖書の新たなとらえ方だと思いました。」
- ・「いつも自分が正しいと思っていることが多いが、『ズレ』についてあまり考えた事がなかったのでこのような機会が得られたのは良かった。」

(研修委員会)

■ 池田・日生合同黙想会 (売布)

6月9日 (火)

黙想指導：溝部司教様

研修委員会



福島県の診療所建設

アンサンブル・プレジール主催のチャリティーコンサートが
4月18日(土)午後2時よりカトリック池田教会聖堂にて
開催されました。



当日は、たくさんの方にご来場いただき感謝いたします。

ご協力ありがとうございました。



5月のガラスケースの言葉

神を信頼する人は 真理を悟り

誠実な人は 神のそばで愛のうちに生きる

知恵の書 3-9



円ブリオ基金への協力に感謝！

円ブリオ基金趣旨賛同者

(箕面教会) 若林 なおみ

(池田教会) 松下 良博

皆様の協力で得られた募金（5回目、5,047円）を3月24日、NPO法人円ブリオ基金センターに送金させて頂きました。これまでと併せて計25,483円となりました。

有難うございました。さて、ご存知の方もいると思いますが、斉藤一人さん（累計納税額日本一で、「スリムドカン」などのヒット商品でおなじみの「銀座まるかん」の創業者です）の著書の一つに、興味深いお話がありましたので紹介させて頂きます。斉藤さんのお弟子さんの一人に語られている一節です。

— 人間の心の奥の奥には小さな光があるんだよ。この小さな光を「魂」と呼ぶ人もいれば「真我」と呼ぶ人もいる。実はこの小さな光は神様から分け与えられた光なんだ。人間がこの世に生れ出る前、まだ肉体もなく卵にもなっていないときのこと、つまり天国にいるとき、人間は小さな光として存在していた。

これから紹介するのはその頃の話 —

ある時一つの小さな光が親である神様にこう言った。「地球で旅をしてくるよ」すると親である神様はこう答えたんだよ。「いいよ、行っておいで。ただし、一つだけ頼みたいことがあるんだよ」「何をすればいいの」「地球にはおまえより先に出ていった我が子らが人間として人生の旅路を歩いている。その人たちが喜ぶことをしてきて欲しいんだよ。私はいつもその子らと歩いているんだけど、私には肉体がないから、みんなが歩き疲れた時に足をさすってあげるとかができないんだよ。でもおまえは地球で旅する時は人間の格好をしているからいろいろできるだろ。みんなが元気をだして歩き続けられるよう、みんなの気持ちを明るくしてあげるとか何か喜ぶことをしてきて欲しいんだよ」小さな光はうなずいて親である神様に約束をした。「自分は人に喜ばれることをしてきます」すると神様は微笑んでこう言ったんだ。「地球で人生の旅路を歩いている最中、いろんなことがあるけれど、私はいつもおまえと一緒に歩いているよ。おまえが地球で人間として生まれたとき、おまえの意識には今日の記憶はないだろう。そしておまえの眼には私の姿は見えないだろう。でも私はいつもおまえと一緒にいるからね。何があっても私はおまえのことを愛しているよ」そして神様は小さな光に肉体を与え、小さな光は人間の赤ちゃんとして地球のどこかの町に生まれおちました。ってこういう話。

これほどまでに私たちを愛してくれている神様、そして心から喜んでこの世に赤ちゃんを送り出そうとしている神様。それにもかかわらず人工妊娠中絶、その背後には様々な背景があるでしょう。しかし、体内に宿る小さな命は、神様によって造られ、神様に会い、愛されるべき尊い命なのです。皆様の小さな善意が、この小さな命の救いの一助となっています。一回一円で結構です。これからもご協力の程よろしくお願いします。

募金箱は聖堂入口横の机の上に毎日曜日置いています。



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

■ 日帰り黙想会

5月21日(木) 10:00 ~ 15:30 指導: 山内十束神父

5月22日(金) 10:00 ~ 15:30 指導: 山内十束神父



■ 週末黙想会

5月30日(土) 17:00 ~ 31日(日) 15:30 指導: 山内十束神父

各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。 ☎0797(84)3111

ペーパードーム

阪神大震災で焼失した神戸のたかとり教会に建てられ、教会としてまた震災後の復興の拠点として、地域の中心的な役割を果たしたペーパードームが、2008年に台湾大地震の震源地である台湾南投県埔里に移築されました。

緑豊かな自然の中であって、民族・宗教を超えてすべての人に開かれ、

地域復興の拠点としても新しい役目を担いつつ、第二の歩みを続けています。



編集後記

近頃のほほえましい話題はやっぱり、これでしょう「和歌山での双子パンダの誕生」です。昨年12月に生まれ、今は名前も命名され、あの小さな体からスクスクと育っています。パンダ特有の白黒もはっきりし、2頭が運動する姿はいつまでも見飽きません。(テレビで特集していました。)時には「パンダ外交」とも言われたりしますが、パンダが日本各地で観られるのは、“平和”だからですね。

(天使の微笑)

